

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Masato OSHIKA, et al.

SERIAL NO: NEW APPLICATION

FILED: HEREWITH

FOR: HAIR DYE COMPOSITIONS

GAU:

EXAMINER:

#6



REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number , filed , is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
Japan	2001-038780	February 15, 2001
Japan	2001-038781	February 15, 2001
Japan	2001-038782	February 15, 2001
Japan	2001-038783	February 15, 2001

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
- ☐ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Norman F. Oblon

Registration No. 24,618

C. Irvin McClelland
Registration Number 21,124



22850

Docket No. 218797US0

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

INVENTOR(S) Masato OSHIKA, et al.

SERIAL NO: New Application

FILING DATE: Herewith

FOR: HAIR DYE COMPOSITIONS



FEE TRANSMITTAL

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

FOR	NUMBER FILED	NUMBER EXTRA	RATE	CALCULATIONS
TOTAL CLAIMS	12 - 20 =	0	× \$18 =	\$0.00
INDEPENDENT CLAIMS	1 - 3 =	0	× \$84 =	\$0.00
<input checked="" type="checkbox"/> MULTIPLE DEPENDENT CLAIMS (If applicable)			+ \$280 =	\$280.00
<input checked="" type="checkbox"/> LATE FILING OF DECLARATION			+ \$130 =	\$130.00
			BASIC FEE	\$740.00
			TOTAL OF ABOVE CALCULATIONS	\$1,150.00
<input type="checkbox"/> REDUCTION BY 50% FOR FILING BY SMALL ENTITY				\$0.00
<input type="checkbox"/> FILING IN NON-ENGLISH LANGUAGE			+ \$130 =	\$0.00
<input type="checkbox"/> RECORDATION OF ASSIGNMENT			+ \$40 =	\$0.00
			TOTAL	\$1,150.00


- ☐ Please charge Deposit Account No. 15-0030 in the amount of _____ A duplicate copy of this sheet is enclosed.
- ☒ A check in the amount of \$1,150.00 to cover the filing fee is enclosed.
- ☒ The Commissioner is hereby authorized to charge any additional fees which may be required for the papers being filed herewith and for which no check is enclosed herewith, or credit any overpayment to Deposit Account No. 15-0030. A duplicate copy of this sheet is enclosed.

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.

Date: _____

2/1/02


Norman F. Oblon

Registration No. 24,618

C. Irvin McClelland
Registration Number 21,124



22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 10/01)

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2001年 2月15日

出 願 番 号
Application Number:

特願2001-038781

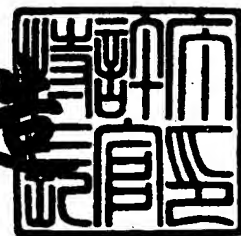
出 願 人
Applicant(s):

花王株式会社

2001年11月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3098878

【書類名】 特許願

【整理番号】 P00441302

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A61K 7/06

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

【氏名】 太島 佐知子

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

【氏名】 大鹿 正人

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

【氏名】 西澤 栄一

【発明者】

【住所又は居所】 和歌山県和歌山市湊 1 3 3 4 花王株式会社研究所内

【氏名】 溝奥 隆司

【特許出願人】

【識別番号】 000000918

【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

【識別番号】 100068700

【弁理士】

【氏名又は名称】 有賀 三幸

【選任した代理人】

【識別番号】 100077562

【弁理士】

【氏名又は名称】 高野 登志雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100096736

【弁理士】

【氏名又は名称】 中嶋 俊夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100089048

【弁理士】

【氏名又は名称】 浅野 康隆

【選任した代理人】

【識別番号】 100101317

【弁理士】

【氏名又は名称】 的場 ひろみ

【選任した代理人】

【識別番号】 100117156

【弁理士】

【氏名又は名称】 村田 正樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100111028

【弁理士】

【氏名又は名称】 山本 博人

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011752

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 毛髪化粧料

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 次の成分(A)及び(B)

(A) 5 又は 6 員環のラクトン骨格を有する化合物

(B) ClogP 値 1.5 以下の香料物質と ClogP 値 3.0 以上の香料物質の組み合わせから成る香料組成物を含有する毛髪化粧料。

【請求項 2】 成分(A)が、 γ -ブチロラクトン又は γ -カプロラクトンである請求項 1 記載の染毛剤組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、浸透促進剤として含有するラクトン及びその加水分解物由来の匂いと調和のとれた香りが持続する毛髪化粧料に関する。

【0002】

【従来の技術】

ラクトン系浸透促進剤である γ -ブチロラクトン等は、毛髪との馴染みが良く、他の浸透促進剤、例えばベンジルアルコール等と比較すると、直接染料を配合した染毛剤の場合、髪に対しては非常に染色しやすいが、皮膚に対しては着色しにくいという優れた効果がある。一方、浸透促進剤は髪に浸透するものであるため、ラクトン及びその加水分解物に由来するやや甘く青臭い匂いが髪に長く残り、通常の調合香料での組み合わせではバランスが悪く、この匂いが非常に気になる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

従って、本発明は、浸透促進剤として含有するラクトン及びその加水分解物由来の匂いと調和のとれた香りが持続する毛髪化粧料を提供することを目的とする。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

本発明者らは、一定のClogP値を有する香料物質の組み合わせから成る香料成分を使用すれば、ラクトン系浸透促進剤に由来するやや甘く青臭い匂いとの調和のとれた香りが得られることを見出した。

【 0 0 0 5 】

すなわち、本発明は、次の成分(A)及び(B)

(A) 5.又は6員環のラクトン骨格を有する化合物

(B) ClogP値1.5以下の香料物質とClogP値3.0以上の香料物質の組み合わせから成る香料組成物

を含有する毛髪化粧料を提供するものである。

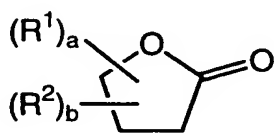
【 0 0 0 6 】

【発明の実施の形態】

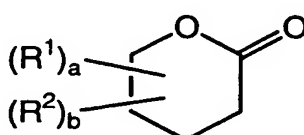
本発明に用いられる成分(A)のラクトン化合物としては、次の一般式(1)又は(2)で表されるものが好ましい。

【 0 0 0 7 】

【化 1】



(1)



(2)

【 0 0 0 8 】

〔式中、 R^1 及び R^2 は相異なる置換基を示し、 a 及び b は0又は1を示す。〕

【 0 0 0 9 】

一般式(1)及び(2)における R^1 及び R^2 としては、直鎖、分岐鎖又は環状のアルキル基、水酸基、スルホン酸基、リン酸基、カルボキシ基、フェニル基、スルホアルキル基、リン酸アルキル基、カルボキシアルキル基等が好ましく、なかでも

γ -ラク톤の場合には γ 位、 δ -ラク톤の場合には δ 位（すなわちヘテロ酸素原子の隣接メチレン）に置換した、炭素数1～6の直鎖又は分岐鎖のアルキル基、例えばメチル基、エチル基、プロピル基、イソプロピル基、ブチル基等が好ましい。また、ラク톤化合物(1)及び(2)の水溶性を増大させたい場合には、 R^1 又は R^2 としてスルホン酸基、リン酸基、カルボキシ基等の酸性基やこれらが置換したアルキル基を有するのが好ましい。ラク톤(1)及び(2)の具体例としては、 γ -ブチロラク톤、 γ -カプロラク톤、 γ -バレロラク톤、 δ -バレロラク톤、 δ -カプロラク톤、 δ -ヘプタノラク톤等が挙げられ、なかでも、毛髪染色性とラク톤の安定性の点から、 γ -ラク톤、特に γ -ブチロラク톤、 γ -カプロラク톤が好ましい。

【0010】

成分(A)は、1種以上を用いることができ、その含有量は、本発明の毛髪化粧料が染毛剤の場合には全組成中に0.5～50重量%、ヘアシャンプー、ヘアトリートメント等の場合には全組成中に0.05～20重量%、ヘアスプレー、ヘアジェル、ヘアクリーム等の場合には全組成中に0.05～15重量%が好ましい。

【0011】

本発明に用いられる成分(B)の香料組成物は、ClogP値が1.5以下、好ましくは1.0～1.5の香料物質と、ClogP値が3.0以上、好ましくは3.0～5.0の香料物質との組み合わせである。ここでClogP値とは、化合物の1-オクタノール中及び水中における化合物の平衡濃度間の比率を示す1-オクタノール／水分配係数Pの常用対数値をいう。このClogP値は、化合物の化学構造に基づくフラグメントアプローチ（A. Leo, Comprehensive Medical Chemistry, Vol.4; C. Hansch, P. G. Sammens, J. B. Taylor and C. A. Ramden, Eds., p.295, Pergamon Press, 1990）によって決定され、デイライト・ケミカル・インフォメーション・システム社から入手し得る"CLOGP"プログラムで計算された値で定義される。

【0012】

ClogP値が1.5以下の香料物質としては、バニリン（1.354）、シンナミックアルコール（1.400）、ヘリオトロピン（1.257）、クマリン（1.412）、2-メチル-3-(3,4-メチレンジオキシフェニル)-プロパナール（ヘリオナール；1.387）、4-

(4-ヒドロキシフェニル)-2-ブタノン (ラズベリーケトン; 1.072)、ベンズアルデハイド (1.495)、アニスアルコール (1.023)、シス-3-ヘキセノール (1.397)、3,4-ジメトキシベンズアルデハイド (メチルバニリン; 1.350)、酢酸ヘリオトロピル (1.315)、フェニルアセトアルデハイドジメチルアセタール (1.293)、フェニルアセトアルデハイドグリセリルアセタール (0.833)、フェニル酢酸 (1.414)、フェニルエチルアルコール (1.183)、フェノキシエチルアルコール (1.188)、シュガーラクトン (0.888)、フラネオール (0.413)、マルトール (-0.062)、エチルマルトール (0.467) 等が挙げられる (カッコ内の数値はClogP値を示す)。これらのうち、バニリン、シンナミックアルコール、ヘリオトロピン、クマリン、2-メチル-3-(3,4-メチレンジオキシフェニル)-プロパナール、4-(4-ヒドロキシフェニル)-2-ブタノン、ベンズアルデハイド、アニスアルコール、シス-3-ヘキセノール、フェニルアセトアルデハイドジメチルアセタール、フェニルエチルアルコール、フェノキシエチルアルコールが好ましい。これらは1種以上を使用できる。

【0013】

ClogP値が3.0以上の香料物質は、通常残香性の高い香料物質として知られている疎水性香料物質であり、具体例としては、2,6-ジメチル-7-オクテン-2-オール (3.033)、オクチンカルボン酸メチル (3.097)、エストラゴール (3.134)、3-メチル-5-フェニル-1-ペンタノール (3.169)、 β -ナフチルメチルエーテル (3.235)、2-ブチル-4,4,6-トリメチル-1,3-ジオキサン (3.244)、3,7-ジメチル-6-オクテン-1-オール (3.253)、アネトール (3.314)、トリシクロ [5.2.1.0^{2,6}]デカン-2-イルカルボン酸エチル (3.370)、2-メチル-5-イソプロピルフェノール (3.401)、酢酸3,7-ジメチル-1,6-オクタジエン-3-イル (3.495)、3,7-ジメチルオクタン-3-オール (3.517)、酢酸イソボルニル (3.525)、酢酸p-メンテン-8-イル (3.575)、1-(4-イソプロピルシクロヘキシル)エタノール (3.642)、5-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-4-ペンタン-3-オン (3.710)、酢酸3,7-ジメチル-2,6-オクタジエン-1-イル (3.715)、4-シクロヘキシル-4-メチル-2-ペンタノン (3.769)、4-(2,2,6-トリメチル-1-シクロヘキセン-1-イル)-3-ブテン-2-オン (3.770)、2,5,5-トリメチル-1,2,3,4,4 α ,5,6,7-オク

タヒドロ-2-ナフタレノール (3.772)、2,6-ジニトロ-3,5-ジメチル-4-*t*-ブチルベンゼン (3.782)、 δ -ウンデカラクトン (3.860)、2-メチル-4-(2,2,3-トリメチル-3-シクロペンテン-1-イル)-2-ブテン-1-オール (3.902)、 α -サンタロール (3.906)、3-シクロヘキシルプロピオン酸アリル (3.935)、1-(2-*t*-ブチルシクロヘキシルオキシ)-2-ブタノール (3.969)、2-ヘプチルシクロペンタノン (3.999)、5-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-3-メチル-3-ブテン-2-オン (4.019)、安息香酸フェニルエチル (4.058)、ジフェニルメタン (4.059)、酢酸*o*-*t*-ブチルシクロヘキシル (4.059)、酢酸*p*-*t*-ブチルシクロヘキシル (4.059)、*p*-メチル-イソプロピルベンゼン (4.068)、4-(2,2,5,6-テトラメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-3-ブテン-2-オン (4.229)、ジフェニルオキシド (4.240)、*p*-メンタ-1,8-ジエン (4.352)、2,2,5-トリメチル-5-ペンチルシクロペンタノン (4.498)、セドロール (4.530)、パチュリアルコール (4.530)、7-アセチル-1,2,3,4,5,6,7,8-オクタヒドロ-1,1,6,7-テトラメチルナフタレン (4.650)、ピサボロール (4.660)、1-(2,6,6-トリメチル-1-シクロヘキセン-1-イル)-2-ブテン-1-オン (4.710)、3,7,11-トリメチル-2,6,10-ドデカトリエン-12-オール (4.800)、酢酸ベチベリル (5.092)、セドリルメチルエーテル (5.106)、3 α ,6,6,9 α -テトラメチルドデカヒドロナフト[2,1-*b*]フラン (5.266)、6-アセチル-1,1,2,3,3,5-ヘキサメチルインダン (5.688)、1-(2,2,6-トリメチルシクロヘキシル)-3-ヘキサノール (5.868)、4,6,6,7,8,8-ヘキサメチル-1,3,4,6,7,8-ヘキサヒドロシクロペンタベンゾピラン (6.062)、 α -セドレン (6.133)、7-シクロヘキサデセノリド (6.361)、3-メチルシクロペンタデカノン (6.415)、9-シクロペンタデセン-1-オン (6.530)、ヘキサデカノリド (6.845)、ラブデノール (7.228)、3,7,11,15-テトラメチル-2-ヘキサデセン-1-オール (8.283)、3,7-ジメチル-2,6-オクタジエナール (シトラール; 3.12)、メチルカビコール (エストラゴール; 3.134)、*p*-メンタン-3-オール (L-メントール; 3.233)、3,7-ジメチル-6-オクテン-1-オール (シトロネラール; 3.264)、1-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-2-ブテン-1-オン (α -ダマスコン; 3.62)、*p*-*tert*-ブチル- α -メチルヒドロシンナミックアルデヒド (リリアール; 3.858)、6-アセチル-1,1,2,4,4,7-ヘキサメチルテトラリン (テンタ

ローム; 6.247)、シクロペンタデカノリド(ペンタライド; 6.286)等が挙げられる(カッコ内の数値はClogP値を示す)。これらのうち、2,6-ジメチル-7-オクテン-2-オール、3-メチル-5-フェニル-1-ペンタノール、3,7-ジメチル-6-オクテン-1-オール、トリシクロ[5.2.1.02,6]デカン-2-イルカルボン酸エチル、2,6-ジニトロ-3,5-ジメチル-4-*t*-ブチルベンゼン、2-メチル-4-(2,2,3-トリメチル-3-シクロペンテン-1-イル)-2-ブテン-1-オール、1-(2-*t*-ブチルシクロヘキシルオキシ)-2-ブタノール、5-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-3-メチル-3-ブテン-2-オン、*p*-メンタ-1,8-ジエン、7-アセチル-1,2,3,4,5,6,7,8-オクタヒドロ-1,1,6,7-テトラメチルナフタレン、3,7-ジメチル-2,6-オクタジエナール、メチルカビコール、*p*-メントン-3-オール、3,7-ジメチル-6-オクテン-1-オール、1-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-2-ブテン-1-オン、*p*-*tert*-ブチル- α -メチルヒドロシンナミックアルデヒドが好ましい。これらは1種以上を使用できる。

【0014】

成分(B)の含有量は、成分(A)又はその加水分解物に由来する匂いとのバランスの点から、ClogP値1.5以下の香料物質とClogP値3.0以上の香料物質との合計で、全組成中に0.05～1重量%、特に0.1～0.7重量%が好ましい。2群の香料物質の使用比率としては、(ClogP値1.5以下の香料物質) : (ClogP値3.0以上の香料物質)の重量比で10 : 90～90 : 10となるのが好ましい。

【0015】

本発明の毛髪化粧料には、成分(A)以外の浸透促進剤として、芳香族アルコール系浸透促進剤を併用することもできる。芳香族アルコール系浸透促進剤としては、ベンジルアルコール、2-ベンジルオキシエタノール、*p*-メチルベンジルアルコール、フェノキシエタノール、1-フェニルエチルアルコール、2-フェニルエチルアルコール、*o*-メトキシフェノール等が挙げられる。

【0016】

更に、本発明の毛髪化粧料には、前記成分のほか、通常の毛髪化粧料に使用し得る成分、例えば直接染料、アルカリ剤(アンモニア、アルカノールアミン等)、毛髪改質剤、粘度・ゲル強度調整剤、油脂類、ロウ類、炭化水素類、多価アル

コール類、アミド類、シリコーン誘導体、カチオン界面活性剤、アニオン界面活性剤、両性界面活性剤、非イオン界面活性剤、カチオン性高分子、アニオン性高分子、両性高分子、蛋白誘導体、アミノ酸類、防腐剤、キレート剤、安定化剤、酸化防止剤、植物抽出物、生薬抽出物、ビタミン類、顔料、紫外線吸収剤等を、目的に応じて適宜配合することができ、染毛剤組成物、ヘアシャンプー、ヘアリンス、ヘアコンディショナー、ヘアトリートメント、毛髪セット剤等とすることができる。

【0017】

【実施例】

実施例において使用した香料処方は、表1に示すとおりである。

【0018】

【表1】

香料物質 (ClogP)	(重量%) 香料処方			
	A	B	C	D
フェニルエチルアルコール (1.183)	10	30	10	
フェノキシエチルアルコール (1.188)	10	30	10	
シス-3-ヘキセノール (1.397)	10	10		
バニリン (1.354)	10	10		
ヘリオトロピル (1.315)	10	10		
1-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-2-ブテン-1-オン (3.62)	10		20	
5-(2,6,6-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-イル)-3-メチル-3-ブテン-2-オン (4.019)	10		20	
7-アセチル-1,2,3,4,5,6,7,8-オクタヒドロ-1,1,6,7-テトラメチルナフタレン (4.650)	10	10	20	
3 α ,6,6,9 α -テトラメチルドデカヒドロナフト[2,1-b]フラン (5.266)	10		20	
4,6,6,7,8,8-ヘキサメチル-1,3,4,6,7,8-ヘキサヒドロシクロペンタベンゾピラン (6.062)	10			
7-ヒドロキシ-3,7-ジメチルオクタン-1-オール (1.53)				20
3-フェニルプロピルアルコール (1.712)				20
ベンジルアセトン (1.739)				20
4-(4-ヒドロキシ-4-メチルペンチル)-3-シクロヘキセン-1-カルボキシアリデヒド (2.15)				20
メチル(3-オクタ-2-ペンチルシクロペンチル)アセテート (2.419)				20
香料成分合計	100	100	100	100

【0019】

実施例 1

表 2 に示す配合組成の染毛剤組成物を製造し、その香りのバランスの良さ及び残香性について、専門パネル 10 名により、以下の基準で官能評価を行った。表 2 に評価の合計点を示す。

【 0 0 2 0 】

非常に良い : 5 点

良い : 4 点

どちらともいえない : 3 点

あまり良くない : 2 点

良くない : 1 点

【 0 0 2 1 】

【表 2】

	本発明品			比較品
	1	2	3	1
黒色 401 号	0.1	0.1	0.1	0.1
紫色 401 号	0.05	0.05	0.05	0.05
だいたい色 205 号	0.1	0.1	0.1	0.1
γ -カプロラクトン	10	10	10	10
エタノール	2	2	2	2
乳酸	4.5	4.5	4.5	4.5
苛性ソーダ	pH 3 に調整			
キサンタンガム	1	1	1	1
香料	0.2(処方 A)	0.2(処方 B)	0.2(処方 C)	0.2(処方 D)
精製水	バランス			
バランスの良さ	44	33	35	27
残香性	41	36	47	19

【 0 0 2 2 】

実施例 2 ヘアシャンプー

(重量%)

ドデシルポリオキシエチレン(2)硫酸ナトリウム 15.0

塩化-0-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)

プロピル]ヒドロキシエチルセルロース 0.5

γ -カプロラクトン 5.0

苛性ソーダ	pH5.5に調整
香料処方 A	0.7
水	バランス

【0023】

実施例 3 ヘアリンズ

(重量%)

塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	1.0
セチルステアリルアルコール	3.0
γ -カプロラクトン	3.0
塩酸	pH3.3に調整
香料処方 A	0.5
水	バランス

【0024】

実施例 4 ヘアリンズ

(重量%)

塩化ジセチルジメチルアンモニウム	1.0
セチルステアリルアルコール	3.0
γ -カプロラクトン	3.0
塩酸	pH3.3に調整
香料処方 A	0.5
水	バランス

【0025】

実施例 5 ヘアスプレー

(重量%)

毛髪セットポリマー*	3.0
δ -バレロラクトン	5.0
エチルアルコール	5.0
ポリオキシエチレンドデシルエーテル	0.5
香料処方 A	0.2

苛性ソーダ	pH 6 に調整
水	バランス

* : プラサイズL-75CB (互応化学社製)

【0026】

実施例 6 ヘアフォーム

	(重量%)
γ -ブチロラクトン	3.0
エチルアルコール	10.0
カルボキシビニルポリマー	0.3
ポリオキシエチレンドデシルエーテル	0.5
香料処方 A	0.2
苛性ソーダ	pH 6 に調整
ジメチルエーテル	2.0
液化石油ガス	8.0
水	バランス

【0027】

実施例 7 ヘアクリーム

	(重量%)
γ -カプロラクトン	3.0
ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	3.0
ポリグリセリン脂肪酸エステル	5.0
軽質流動イソパラフィン	2.0
エチルアルコール	10.0
毛髪セット用ポリマー*	3.0
セタノール	2.5
ポリオキシエチレンドデシルエーテル	0.5
香料処方 B	0.1
水	バランス

* : ユカフォーマSM (三菱化学社製)

【0028】

実施例 8 ヘアジェル

	(重量%)
γ -カプロラクトン	3.0
毛髪セット用ポリマー*	3.0
エチルアルコール	10.0
カルボキシビニルポリマー	0.5
セタノール	2.5
ポリオキシエチレンドデシルエーテル	0.5
香料処方C	0.2
水	バランス

pH = 7

* : プラサイズL-9540B (三菱化学社製)

【0029】

【発明の効果】

本発明毛髪化粧料は、浸透促進剤として含有するラクトン及びその加水分解物由来の匂いと調和のとれた香りが持続するものである。

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 浸透促進剤として含有するラクトン及びその加水分解物由来の匂いと調和のとれた香りが持続する毛髪化粧料の提供。

【解決手段】 次の成分(A)及び(B)

(A) 5又は6員環のラクトン骨格を有する化合物

(B) ClogP値1.5以下の香料物質とClogP値3.0以上の香料物質の組み合わせから成る香料組成物
を含有する毛髪化粧料。

【選択図】 なし

特 2001-038781

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2001-038781
受付番号	50100211746
書類名	特許願
担当官	第五担当上席 0094
作成日	平成13年 2月16日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成13年 2月15日
-------	-------------

次頁無

特2001-038781

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000918]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

氏 名 花王株式会社